

標 題 : Italian Mediterranean Index and risk of colorectal cancer in the Italian section of EPIC cohort
EPIC コホートのイタリア地区におけるイタリア地中海指数と結直腸がんのリスク

著 者 : C. Agnoli, et al. (イタリア Fondazione IRCCS Istituto Nazionale dei Tumori 疫学・予防部)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 132: 1404–1411 (2013)

要 旨 :

結直腸がんは世界中で最も一般的ながんである。

食事要因が結直腸がんリスクに関連したが、先験的な食事パターンと結直腸がんリスクとの間の関連を少数の研究しか評価しなかった。

イタリア地中海指数で測定された地中海食事パターンの順守の影響を、食事アンケートを完了した EPIC 研究のイタリア地区の参加者 45,275 人における結直腸がんリスクに関して、我々は評価した。

イタリア地中海指数スコアの区分との関連で結直腸がんのハザード比(HR)と 95%信頼区間(CI)を、コホート全体、男性と女性およびがんの詳細部位に関して、既知の危険因子を調整した多変量 Cox モデルで推計した。

平均 11.28 年の追跡中に、435 件の結直腸がん症例が確認された。

イタリア地中海指数は結直腸がんリスクと逆相関した(HR : 0.50 ; 95%CI : 0.35–0.71 最高区分を最低と比較、P-動向 : 0.043)。

結果は性別によって違わなかった。

最高のイタリア地中海指数スコアはまた、全ての結腸がん(HR : 0.54, 95%CI : 0.36–0.81)、遠位結腸がん(HR : 0.44, 95%CI : 0.26–0.75)および直腸がん(HR : 0.41, 95%CI : 0.20–0.81)と有意な関連をしたが、近位結腸がんとは関連しなかった。

地中海食事の順守(イタリア地中海指数で測定)は結直腸がん全体を予防するが、近位結腸がんの発症は予防しないと、これらの研究結果が示唆する。

キーワード : 結直腸がん、地中海食事、追跡研究
